

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	堀毛一也	所属	東洋大学
研究会等名称	ポジティブ心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 19名 (うち認定心理士 2名) 非会員 19名 (うち認定心理士 3名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、ポジティブ心理学に関する研究発表を通じて、ポジティブ心理学の発展および研究者の交流を促すことを目的としている。本年度は下記の通り2月17日(日)18日(月)の2日間にわたり、第二回ポジティブ心理学研究会を開催した。</p> <p>実施内容： 場所：東洋大学白山キャンパス 1号館4階 1407教室</p> <p>2月17日(日) 14:00～15:30【特別講演】野村理朗(京都大学) 「無心」と「乱心」からみるポジティブ心理学 15:45～17:00 片岡雅知(東京大学) 幸福と人生のかたち：哲学の観点から</p> <p>2月18日(月) 10:00～11:00 吉野優香(筑波大学) 感謝感情と負債感情が向社会的行動に及ぼす影響 --向社会的行動の実行コストに着目して-- 11:15～12:15 一言英文(福岡大学) 協調的幸福感のポジティブな機能 13:30～14:30 阿部望(同志社大学) 子どもの精神的健康の向上を目指した学校での強み介入 14:45～15:45 島井哲志(関西福祉科学大学) Character strengths は発揮しすぎることがあるのか？ あるとすれば、どんな strength で起きやすいのか？</p> <p>成果： 第一回を上回る盛況であり、40名近い参加者が研究会に集まり懇親会にも20名以上が参加した。研究会および懇親会では活発な議論が行われ、異分野の研究者も参加したことで参加者からは大いに学びになったという声をいただき、日本におけるポジティブ心理学の活性化に寄与したと考えている。</p> <p>将来計画： 第三回の発表希望者も出たため、継続して研究会を開催する予定である。</p>		

研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
ポジティブ心理学研究会				
研究集会開催日： 2019年 2月 17日(日)、18日(月)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	金子迪大	京都大学	○	
2	高史明	東京大学	○	
3	沼田真美	筑波大学	○	
4	吉野優香	筑波大学	○	
5	尾崎由佳	東洋大学	○	
6	尾崎真由実			
7	肖知雨	筑波大学	○	
8	芳賀道匡	日本大学	○	
9	菅原大地	筑波大学	○	
10	大久保慧悟	ディップ株式会社		
11	阿部望	同志社大学	○	
12	柳原透	拓殖大学		
13	島井哲志	関西福祉科学大学	○	
14	片岡雅知	東京大学		
15	真船浩介	産業医科大学	○	○
16	布施美鈴	弘前大学		
17	山岡明奈	筑波大学	○	
18	小野拳	高知工科大学		
19	高橋周平	明治大学		
20	小牧一裕	大阪国際大学		○
21	一言英文	福岡大学	○	
22	北村英哉	東洋大学	○	
23	片山美由紀	東洋大学		○

24	片平建史	関西学院大学	○	
25	川上愛	JSPS	○	
26	リュウサン	立教大学		
27	西村隆次			
28	小樽雅章	向社会性研究所		
29	小田喜理江			
30	氏厚将	放送大学		
31	石井敬子	名古屋大学		
32	浦田悠	大阪大学	○	
33	江口圭一	福山平成大学		○
34	荒井弘和	法政大学	○	○
35	大須賀進	(社)日本コミュニケーション協会		
36	下島裕美	杏林大学	○	
37	藤田尚弓	早稲田大学		
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

(様式5)

2019年 3月 31日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 ポジティブ心理学研究会

研究会番号 18028

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2019年2月17日	講師旅費 (1名)	¥30,000

支出合計 ¥30,000